

大関っ子 学びのきまり

～おおせき まなブック～



なまえ
名前

持ち物や学習のきまりを おうちの人と かくにんしましょう。

6年生まで使います。ふだんは、ランドセルの中に入れて おきましょう。

1 学習用具・学習準備

◇持ち物にはすべて名前をつけましょう。

◇下敷きを使いましょう。(無地で学習にふさわしいもの)

◇学習に必要なものだけを持ってきましょう。
(ふでばこに キーホルダーなどは、つけません。)

＜ふでばこの中身＞

1・2年生	3・4年生	5・6年生
・赤えんぴつ	・赤、青の鉛筆、または赤、青のボールペン	
	・マーカーペン (1本)	マーカーペン (必要に応じて)
・鉛筆5本…にぎったときに、鉛筆が見える長さ、シンプルな柄、もよう ※シャープペンシルは、もってこない。		
2B または B		HB も可
・定規 (10～15 cmくらい。透明で正確な目盛りがついている。) ・消しゴム (白色で、よく消えるもの、もよう、かおりなし) ・名前ペン		



＜机やロッカー、お道具箱の中＞

1年	のり・クレパス・クーピー
2年	のり・クレパス・クーピー・三角定規
3年	のり・クレパス・クーピー・三角定規・国語辞典
4年	のり・クレパス・クーピー・国語辞典・三角定規・分度器
5・6年	のり・クーピー (色鉛筆)・三角定規・分度器・辞典

※はさみとコンパスは、先生があずかっています。使う時に配ります。

※図書室の本は手さげ袋に入れて机の横に掛けます。

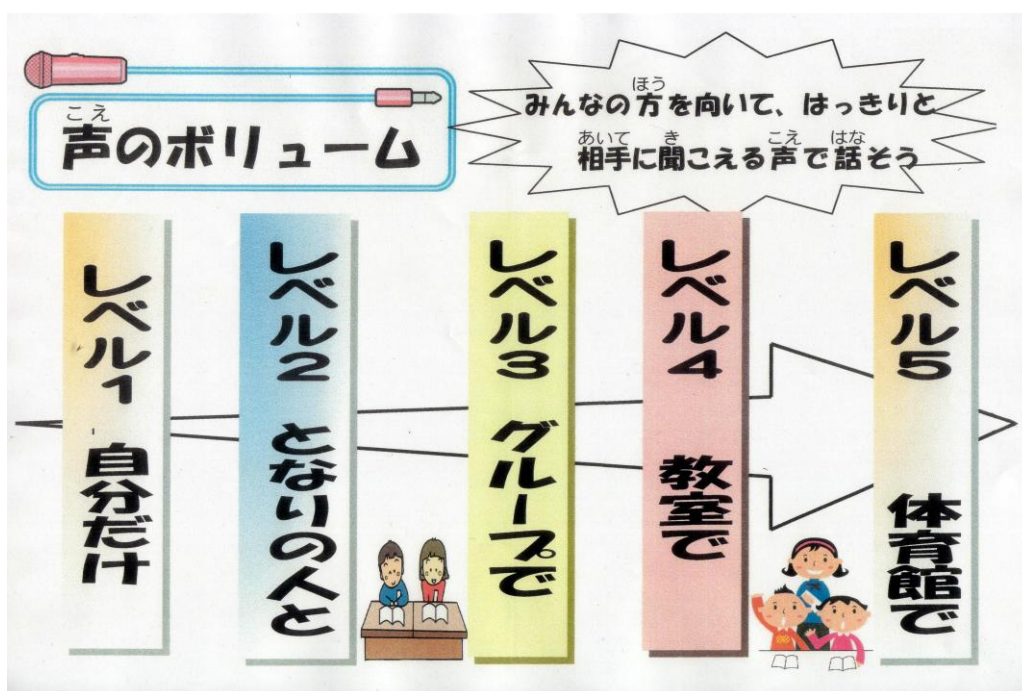
本が傷むため、机の中には入れません。

※つぎの学習の準備 (教科書・ノート・下敷き・筆入れなどを机の上に出す) をしてから遊びに行きましょう。

2 すわり方



3 声のボリューム



4、^{はな}話し方 ^き聞き方

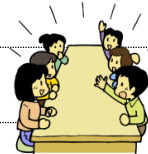
～1・2ねんせい用～

	ないよう	
はなす	・ はっぴよう したいときは、^{くち}口をとじて ^て手をあげる。 ・ なまえをよばれたら、「はい」と ^{へんじ}ををする。 ・ みんなのほうをむいて ^{あいてに} きこえるこえで はなす。	
	おも ① 思ったことを、はなすとき	「〇〇です。」 「〇〇だとおもいます。」
	② わけをつけて、はなすとき	「わたしは、〇〇だとおもいます。 なぜなら、□□だからです。(そのわけは～です。)」
	③ ききたいことがあるとき	「〇〇さんにしつもんします。」
	④ おなじはなしや、にているはなしをするとき	「〇〇さんとおなじで、わたしも□□だとおもいます。」 「〇〇さんと にていて、わたしも□□だとおもいます。」
	⑤ ともだちに いけんを もとめるとき	「みなさん、どうですか。」
	⑥ じゅんじょよく はなす。	「はじめに (さいしょに)」 「つぎに」 「さいごに」 のように じゅんばんに はなす。
きく	・ はっぴようする人の ほうを むいて きく。 ・ あいての はなしは、口をとじて ^{さいご}まで きく。 ・ ぐー、ぺた、ぴんの よいしせいで。 ・ きこえないときやわからないことは、はなしがおわってから ききかえす。	



～3・4年生用～

	内容
話す	・発言したい時は、口をとじて 手を挙げる。 ・指名されたら、「はい」と返事をする。 ・聞き手の反応を確かめながら話す。 (あいてが話し終わったら) 「みなさん、どうですか。」「質問や付け足しはありますか。」
	①思ったこと、感じたこと 「わたしは、～と思います。(と感じました。と考えます。)」 「わたしの考えは、～です。」
	②理由 「～～です。なぜかという、～だからです。」
	③質問 「〇〇さんに質問します。」 「〇〇さんの言いたいことは、～～ということですか。」
	④確認 「〇〇さん、もう一度言って(説明して)ください。」 「〇〇さんの考えは、～ということですね。」
	⑤賛成 「わたしも〇〇さんの考えと同じ(賛成)です。似ています。」 「〇〇さんの考えの～というところに賛成だけど、～～。」
	⑥反対 「～は、～ではなくて、～だと思います。」
	⑦補充 「〇〇さんに付け足しで、～です。」
	⑧考えの変化 「はじめは～だったけど、今は～です。」
	⑨順序立てて考えを話す。 「私の話は〇つあります。一つ目は～～です。二つ目は～～です。」
聞く	・発表する人の方を向いて聞く。 ・相手の話は、口をとじて最後まで聞く。 ・聞こえないときや分からないことは、聞き返す。 「聞こえなかったので、もう一度言ってください。」 ・自分の考えと似ているところやちがっているところを考えながら聞く。 ・大切だと思ったところや参考になった友達の意見、先生の話をもメモする。



～5・6年生用～

	内容
話す	・発言したい時は、口をとじて^{きよしゅ}挙手する。 ・指名されたら、「はい」と返事をする。 ・聞き手の反応を確かめながら話す。 (話しながら)「～ですね。」 「ここまでわかりますか。」 
	①思ったこと、感じたこと 「わたしは、～と思います。(と感じました。と考えます。)」 「わたしの考えは、～です。」
	②理由 「～です。なぜかというところ、～からです。」
	③質問 「〇〇さんに質問します。」 「〇〇さんの言いたいことは、～ということですか。」
	④確認 「〇〇さん、もう一度言って(説明して)ください。」 「つまり、〇〇さんの考えは、～ということですね。」
	⑤賛成 「わたしも〇〇さんの考えと同じ(賛成・似ている)です。」 「〇〇さんの考えの～というところに賛成だけど、～。」
	⑥反対 「～は、～ではなくて、～だと思います。」
	⑦補充 ^{ほじゅう} 「〇〇さんに付け足しで、～です。」
	⑧考えの変化 「はじめは～だったけど、今は～です。」
	⑨話し合いがつながらるように友達に意見を求める。 「わたしは～と考えますが、みなさんはどうですか。」
聞く	・発表する人の方を向いて聞く。 ・相手の話は、口をとじて最後まで聞く。 ・聞こえないときや分からないことは、聞き返す。 「聞こえなかったので、もう一度言ってください。」 「△△の意味が分からなかったので、説明してください。」 
	・自分の考えと似ている点や異なる^{こと}点を考えながら、最後まで聞く。
	・大切だと思ったことはメモをする。 ^{さんこう}参考になった友達の意見や先生の話をもメモしよう。 自分なりのマーク・キャラクターを決めるのもいいよ。 

5 ノートの使い方

- 下敷きを敷いて、文字を書きましょう。
- 1マス1字ずつ、そろった文字を書きましょう。
- 筆算は1数字に1マスを使い、計算と計算の間は1字・1行空けましょう。
- 間違いは消さずに残しておきましょう。
- 途中の式は省略しないようにしましょう。
- 線は、定規で引きましょう。



〈国語〉

ふりかえり ○今日の勉強で分かったこと。 ○ふしぎに思ったこと。 ○友達の考えでいいと思ったこと。	まとめ・ふりかえり	友達の考えなど ○黒板をていねいに写しましょう。	自分の考え ○なぜそう考えたのか、教科書の何ページに書いてあったのかを書くと分かりやすくなります。	課題	日付 課題は、赤い線で囲みましょう。
--	------------------	---	--	-----------	----------------------------------

〈算数〉 見開きで使いましょう。

学習のまとめは青い線で囲みましょう。

課題 課題は赤い線で囲みましょう。 自分の考え ○絵・図・表・グラフ・言葉・式などを使って書きましょう。 ○「はじめに」「つぎに」という言葉を使うと分かりやすくなります。	友達の考え ○大切だと思う考えを写しましょう。 練習問題 まとめ ふりかえり ○新しく知ったこと、分かったこと。 ○ふしぎに思ったこと。 ○友達の考えでいいと思ったこと。	学習のまとめは、青い線で囲みましょう。
---	---	----------------------------

6 考えの書き方

～^{かんが}考え^かを書^{まえ}く前に～

いちばんつた なに ^{かんが}かんが ^{けつ}けつ
○一番伝えたいことは何かを ^{かんが}考えよう。(結ろんから考えよう)

○どうして、その^{けつ}結ろん(自分の^{じぶん} ^{かんが}考えや^{おも}思ったこと)になったのかを
考えよう。

○書きたいことの^{ようす}様子が分かるように、「いつ、どこで、^{なん}何のために、
だれが、なぜ、どのように」を^{かんが}考え、^よ読んでいる人^{ひと}が分かるように
^か書こう。

<1・2年生^{ねんせい}>



- ① ^{じぶん}じぶんの^{かんが}かんがえをくわしく^か書く。
- ② 「はじめに」「つぎに」「さいごに」のようなことばを
^{つか}使って、じゅんじょよく^か書く。
- ③ 「わけは～だから」のように、わけをいれて^か書く。
- ④ ^え絵や^{ぶん}文、^ず図で^{じぶん}じぶんの^{かんが}考えがわかるように^か書く。

＜3・4年生＞

- ① 考えを^{せいり}整理して書く。
- ② 文章を短く区切って書く。「しかし」「だから」「なぜなら」のような「つなぎ^{ことば}言葉」を使って書く。
- ③ 最初に^{けつ}結ろんを書いてから、その理由を書く。
- ④ 考えの理由が分かるように、文・図などを使って書く。
- ⑤ 「はじめ」「なか」「おわり」のまとまりを^{いしき}意識し、だん落をつけて書く。
- ⑥ 友達のよい考えを自分のノートに写すようにする。

＜5・6年生＞

- ① ^{こん}根きょ（理由）をはっきり、自分の考えを書く。
- ② 「このように」「つまり」「もし」のような接続語を使って書く。
- ③ 最初に結ろんを書いてから、その理由を書く。
- ④ 文・図・式・グラフ・表など^{こん}根きょをあげて、考えをまとめながら書く。
- ⑤ 「はじめ」「なか」「おわり」のまとまりを意識し、3～4つのだん落をつけて書く。
- ⑥ 自分の考えと友達の書いた文を比べながらまとめる。



8 Let's Try かてい がくしゅう 家庭学習

◇家で勉強するくせ（習慣）をつけましょう。

◇「学年×10分」を目安に勉強しましょう。

◇宿題は必ずやりましょう。

◇決めた時刻に勉強しましょう。

◇宿題がいかに自分で考えた勉強をしましょう。

◇「テレビを見ながら、ゲームをやりながら、食べながら」などの
「ながら勉強」は、やめましょう。

☆勉強が終わったら、連絡帳と週の予定表を見て、次の日の学習準備を
忘れずにしましょう。

保護者の皆様へ

- ・時々、お子さんの学習ノートなどを見てください。よいところは大いにほめてください。
- ・家庭学習において、子どもへの声かけは大変重要なものです。
- ・子どもがやる気になる「3H（ほめる、はげます、ひろげる・ふかめる）」を、ぜひご家庭で試してください。



○ほめる…「こんなにきれいに書けるんだね。すごいね。」

○はげます…「まだ速く計算できないけれど、毎日続ければ必ず速くなるよ。」

○ひろげる・ふかめる

…「この頃、漢字の間違いが少なくなってきたね。この調子で次もやれるよ。」

この冊子にある学び方を基本とし、子どもたちの確かな学力の定着を目指します。「学び方の基本」は「教え方の基本」でもあります。大関小学校では、これらを教師が意識し、指導してまいります。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

家庭学習の手引き(小池中学校区)

学校で学習したことをしっかりと理解するために、家庭学習が欠かせません。小池中学校区の小中学校では、自主的な家庭学習の取組を進めています。できたこと、続けたことを大いにほめ、やる気を高めていきましょう。

またどの学年も、朝食は必ず食べさせ、決まった時間に「起きる」「学習を始める」「寝る」の基本的な生活習慣が身に付くようにしてください。集中して学習できるよう、ご協力をお願いします。

自分の学び方を身に付け、自らすすんで学習に取り組む子どもを育てましょう！

	家庭学習のめあて	時間の目安	家庭の役割(支援)
中学2年・3年	★自分の弱点を知り、自分で課題を見つけて、見通しを立てて学習に取り組む。 ★自分の目指す進路実現を目標にし、中学校の学習内容を総括して、計画的な学習を続ける。	◆平日は2時間以上 ◆休日は3時間以上 ※学校から出される課題に取り組む時間も含めます。	☆子どものよさや適性を理解し、進路について真剣に相談にのってあげてください。自己決定できる力を育てましょう。
中学1年～小学6年	★授業の振り返りや単元テスト、WEBテストなどの見直しを行いながら、学習が必要な教科を選んで自主学習に取り組む。 ★教科のバランスを考えて、自分に合った学習のやり方を見つけて自主的に学習する。	【中学1年生】 ◆平日は1時間以上 ◆休日は2時間以上 【小学6年生】 ◆平日は学年×10分以上 ◆休日はプラス30分 ※宿題に取り組む時間も含めます。	☆あきらめずに続けたことやがんばり通したことを大いにほめてください。やる気と根気を育てましょう。 ☆自分で考えて選択したり、行動したりすることを大切にしてください。自立心を育てましょう。 ☆自分ひとりの力で学習する力を育てましょう。
小学3・4・5年	★学校から出される宿題^{しゅくだい}だけで終わらず、自分のめあてをもって自主^{じしゅ}学習に取り組む。 ★漢字^{かんじ}や計算^{けいさん}は、ドリルやプリントを使って、くり返し^{くりかえし}練習^{れんしゅう}する。 ★興味^{きょうみ}をもったことについて、自分で調べ^{しらべ}てみる。	◆平日は学年×10分以上 ◆休日^{きゅうじ}も学習に取り組ましよう。 ※宿題に取り組む時間も含めます。	☆毎日決まった時間に、自分からすすんで家庭学習を始める習慣を身に付けさせてください。声かけや見守りをお願いします。 ☆分からないときや、うまくいかないときには、手助けをし、最後までやり遂げさせてください。
小学1年・2年	★家^{いえ}にかえったら、きまった時間^{じかん}に勉強^{べんきょう}をはじめる。 ★宿題^{しゅくだい}を先に終わらせてから、自分の勉強^{べんきょう}にも取り組む。 ★きょうみ^{きょうみ}をもったことについて、自分でしらべてみる。	◆平日は学年×10分以上 ◆休日^{きゅうじ}も学習に取り組ましよう。 ※宿題に取り組む時間も含めます。	☆がんばって取り組んだことを大いに、ほめてください。 ☆朝食は必ず食べさせ、決まった時間に「起きる」、「学習を始める」、「寝る」ができるようにしてください。 ☆週1回以上は、宿題やノートを見てください。学習内容やお子さんの理解度をご確認ください。